

## 平成20年度事業方針

オーナー桜を中心とした  
維持管理事業  
会員相互の親睦を深める  
事業  
桜の愛護、保存、育成に  
関する知識・技術の習得  
事業

これは発足当初からの方針  
をそのまま引き継いでいま  
す。

## 年間活動予定

定例会は、奇数月の第2日曜  
日9時から原則とします。深  
坂自然の森の「森の家」に集合  
します。雨天決行です。今年度  
の予定は左表の通りです。来  
年5月が第2日曜ではないので  
をつけてください。

平成21年			平成20年		
5月17日	3月8日	1月11日	11月9日	9月14日	7月13日
第6回定例会	第5回定例会	第4回定例会	第3回定例会	第2回定例会	第1回定例会

定例会の日は、各自で手袋、  
鎌、移植ゴテ、剪定バサミなど  
手道具はお持ちください。9時  
から作業内容の説明および部会  
報告などのあと作業に移って頂  
き、午前中で作業終了です。作  
業後はほとんど毎回、オニギリ  
や、ブタ汁などの昼食が無料で  
準備されています。

## 真夏の森の夢

20年度の活動方針は決まっ  
たが、これまでの活動が若い人  
たちにも受け入れられているか  
心配だ。そこで、若い人たちに  
も入っていただいて、何故、さ  
くら友の会に入ろうと思っ  
たか？また、これからの深坂の森  
にかける夢などを語ってもらっ  
た。出席は阿部、宮崎、坂井、  
平野、城戸、西川、野口。  
A「わたしは結婚記念に植え  
ました。だから、これを枯らし  
ちやいかんと、手入れしていま  
した。ツツジの植え込みの中に  
植えてあったので、周りのツツ  
ジを短く刈りました。」  
K「君だったの。こっちは市  
から怒られましたよ。」(笑い)  
A「その後、Kさんから電話  
で、友の会に入って桜の世話を  
しないかと勧誘を受けまし  
た。」(笑い)  
S「わたしは家族が6人で、  
6本植えようと思っているがま  
だ5本です。運動神経は鈍い  
が、草取りなんかは好きなん  
です。それで友の会に入りまし  
た。」  
H「私は高校時代から深坂の

森には縁があった。まだ堤がな  
い時代だった。深坂の森は山桜  
が奇麗。山桜が好きで桜を植え  
た。草がよく茂るので、手入れ  
のために刈払い機を買った。そ  
こに友の会の話しがあったの  
で、やっとそういう話しになっ  
たかと思つて入った。」  
n「山が好きなんです。」  
H「吉野に行った時に山桜が  
こんなに奇麗なのかと思つた。  
宮島では、紅葉谷にある桜に苔  
が生えていた。一緒にいた先生  
が「可哀想に、この桜もいいと  
ころに植えられたら幸せだっ  
たらうに。」と言われた。紅葉は  
湿気を好むが、ソメイヨシノに  
は向かないと言つことを知っ  
た。」  
N「春は桜、秋は紅葉と言っ  
わけには行かないですね。」  
H「杉林の中に植えられた桜  
を見ると可哀想に思う。山桜を  
植えたい。」

N「わたしは、自分達のほか、  
孫やお爺ちゃん、お婆ちゃん  
のために植えた。友の会に入っ  
たのは、実は深坂の森を丸裸に  
して桜ばかり植えられるのを恐  
れたからです。これは中に入っ  
てプレーキをかけなければなら  
ないのではないかと思つた。」  
H「そういうことだけは停め  
ねばならない。」(笑い)  
N「日本の森林資源は、北欧  
辺りに比べると、あまり活用さ  
れていないように思う。イギリ  
スにあるナショナルトラストを  
参考に、市民から寄付を集め、  
ボランティアを募つて、もつと  
森の価値を高める方法があるの  
ではないか。人工的な遊戯施設

でなく、森は森らしく大木を育  
てたり、外来種の山野草は除去  
するとか。」

K「これから深坂の森をどう  
したいと思いますか。」

n「炭焼きなんていいんじや  
ないですか。」

H「炭焼き窯を作るのは大変  
ですよ。この間まで、山口県に  
4人しか居ないという炭焼き窯  
を作る人について、釜作りの手  
伝いをして来ました。粘りのあ  
る赤土のあるところでないとし  
い。」

N「赤土がなくてもやってみ  
たい。深坂には石があるから、  
石とつなぎの泥で、失敗しても  
やってみたい。」

n「石窯ならパンも焼ける。」  
S「桜の季節外に何度も深坂  
に出入りする間に、スミレの群  
生や、筆リンドウの群生に出会  
つて、深坂がますます好きにな  
った。桜のオーナーでなくても友  
の会に入れることをもつとPR  
して、みんなで深坂の森を良く  
していけたらいいですね。」

H「そういう群生は、雑草を  
良い時期に刈つたから出来る。  
だから地図を作つて、ここは何  
時刈る、それ以外は刈つてはい  
けないという計画が必要だ。」

N「そう。そういう計画を自  
分達だけで作るのではなく、市に  
も説明し、多くの人が参加して  
愛すべき森にしていくことが出  
来たらいい。」(編集野口)

## 桜四方山

(一頁からの続き)は  
な風や急ぎ手をやる帽  
子とぶ・記念にと植え  
た桜見孫たちと・さく  
らえの深坂の森へ記念  
樹を・桜咲く深坂の森

に思い出を・さくらみち小鳥  
とあそぶ深坂みち・さそわれ  
る小鳥の声とさくらみち・天  
気良き深坂さくらえ皆集い・  
桜咲き深坂の森に音響き・深  
坂池桜満開楽しけり・亡き妻  
に引かせてあげたい山桜・手を  
引かれウオー・楽しむ桜道・  
深坂路は春らんまんのまっさ  
かり・木漏れ日を浴びつつ歩  
く深坂路を・花満つる春まっ  
さかり深坂路は・藪椿山路染  
めて寒惜しむ・想い込め己が  
桜に逢えるのは春の盛りのさ  
くらえのころ・さわさわと人  
恋しさに山桜・さくら坂笑い  
声聴く小鳥たち・峰づたい射  
撃音びく見晴台・深坂桜十  
年後の日本一・深坂の森人の  
集いて桜(はな)盛り・ウオ  
ーク前準備体操足つた・今  
日の日はひとよしそらよしさ  
くらよし。

以上四十七句(二十三名)  
の応募があった。「桜咲く人  
の心にときめきを」(吉田ま  
ゆみ)が本日の最優秀作品に  
選ばれた。紙面の都合で他の  
作者名は省略した。そのうち  
に句碑を作ろうかと言う声も  
あがっている。自分の桜に添  
えるなら良いが、句碑を作る  
となると、友の会だけの問題  
ではない。現代俳句は分かり  
難く意見も分かれそう。市  
民が納得する選者を要する。